

## 甌島区域 令和コミュニティトーク 要約

日 時：令和3年11月17日（水） 13：30～15：40

場 所：鹿島公民館 大ホール

### 出席者

市：田中市長、福元副市長、藤田教育長、企画政策部次長兼甌島振興局長、地域政策課長、広報室長、甌島振興局下甌支所長兼地域振興課長、甌島振興局地域振興課長兼里市民サービスセンター所長兼鹿島市民サービスセンター所長、甌島教育課長、甌島振興局地域振興課専門職、甌島振興局地域振興課専門職兼市民健康課鹿島診療所事務長

地域：甌島区域の9地区コミュニティ協議会長をはじめとする地区住民 41名  
(合計52名の参加)

### 市政報告 市長

- ・ 第1回の令和コミュニティトークを甌島で開催できることを嬉しく思うとともに、本日の参集に心から感謝申し上げます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症について、ワクチン接種率は12歳以上の2回目接種が88%まで進んでいる。3回目接種をまずは医療従事者から12月に開始する。2回目接種から8か月経過後、3回目接種券を随時送付予定。
- ・ 昨年8月甌大橋が開通し、市民生活と地域の発展は良い方向性に向かっていることを踏まえ、本日は甌島全体の発展に向けた議論を進めたい。
- ・ 本年10月1日、甌島振興局を設置した。
- ・ 甌大橋を含む甌ハーフマラソンコースが日本陸上競技連盟の公認コースに認定された。全国的な大会の開催も期待できる。
- ・ 鹿島地域の恐竜化石ミュージアムは今年度から着工し、順次整備を進める予定。
- ・ 芦浜トンネルの南側の県道5kmの未整備区間については、県の事業化が決定し、本年度長浜地区の設計が終了。縦貫道として整備に取り組んでいる。
- ・ 光ファイバ網は、甌島全域と本土の未提供地域について、来年3月までには敷設整備を終える予定。生活や産業面での情報スピードが格段に向上する。
- ・ 市民との意見交換会については、これまでと内容と手法を変え、名称も令和コミュニティトークと改めスタートした。本日午前中は現地視察も実施し、西山と内川内の会長から直接話が伺えた。この意見交換会は市長が皆さまの意見を聴く場であるが、地区コミュニティ協議会から地区振興計画の振り返りもお願いしたい。市からの説明は、本庁の次長を兼ねる古川甌島振興局長にさせるが、市長も発言をし、一体感をもって進めていきたい。本日は、建設分野では福元副市長、教育分野では藤田教育長も参加しているので、忌憚のない意見を伺いたい。

## 地区振興計画振り返り

### 【里地区】

- ・ 本地区の特徴は、個々の活動が活発であり、現役世代が多数地域活動に参加していること。何等かの行動を行ったものが約40%、残り60%は手を付けられなかったが、コロナウイルス感染症の影響と考える。
- ・ 「里地区安全安心生活環境パトロール」については、毎年関係団体と道路パトロールを行い、危険箇所の確認や対策等について情報の共有を図っている。
- ・ 「男女共同参画による地域活性化事業」については、男女共同参画社会を認識し、女性の意見を反映する活動であるが、コロナ禍で学習機会が作れなかった。
- ・ 「地域福祉を語り合う事業」では、青少年を守るための地域福祉ネットワーク構想を計画したが実施できていない。

### 【上甕地区】

- ・ 本地区は6つの部会に分かれて事業を進めてきたが、今年度はコロナウイルス感染症の影響でほとんどの事業が中止となったため、BC評価が多い。
- ・ 「自治会長等研修会」も地区のリーダー研修を計画したが実施できていない。
- ・ 「自主防災組織の充実と活性化」では、避難訓練はほとんどが未実施であるが今後コロナウイルスが収束に向かった場合は実施できるものと考えている。
- ・ 「上甕クリーン大作戦」は、漂流物の撤去で参加者が少なく苦慮しており、可能な限り続ける予定であるが、市の支援があればありがたい。
- ・ 「甕大明神マラソン大会」は、令和2年度から甕マラソン大会に名称変更して実施。コロナウイルス感染症の状況により本年度は中止とした。日本陸連の公認コースに認定され、令和4年度は公認大会を計画している。全国に参加を呼びかけ、盛大に甕島の自然のすばらしさを発信していきたい。

### 【手打地区】

- ・ 「甕島のトシドンの保存会等の充実」は、少子化により存続が危ぶまれているので、郷土館でのビデオ鑑賞会等により伝統芸能の継承を行った。
- ・ 「独居老人への声かけ運動」では、地区内の高齢者のマップづくりを行い、独居老人を支援するボランティア活動への体制づくりを進めている。
- ・ 「道路等の危険地区点検」では、側溝等の危険箇所の点検を行っている。
- ・ 「台風時等避難施設の整備」では、高齢者も多いため安心安全な避難施設の整備に向け要望活動を行っている。
- ・ 「手打海岸の清掃」は地区民総出で継続しているが行政の支援もお願いしたい。
- ・ 「動植物調査の実施」については、野鳥の調査を依頼していたが、コロナの影響でできなかったため、今後、改めて専門家へ依頼したい。

### 【子岳地区】

- ・ 地域ふれあいと協働のまちづくりのための「運動会」については、コロナの影響で実施できなかった。
- ・ 「まるごとささえ愛事業の充実」では、新制度移行後も地区民での事業を継続

している。

- ・ 「子岳特産品の開発」では、みっちり草原が有名になったので、来年度、地域拠点としてカフェのオープンを目指しており、交流人口の増加につなげたい。

### 【西山地区】

- ・ 70歳代が中核となって活動し、出身者が夏に帰省し地域行事や活動に参加、ごく少数であるが若い人の移住もある中で集落を維持している。
- ・ 「旧西山小学校の景観保存」では、閉校になった小学校の校庭の草刈りを年3回実施。石垣は市の重要景観資産のため専門業者に委託して清掃を実施している。ここは心の拠り所であるので、これからも続けていく予定である。
- ・ 「観光資源の開発・整備」では、青瀬地区コミ協と連携し助八古道の整備を進めている。第8回の「助八古道を歩こうかい！」は12月12日に実施予定。昨年は120名の参加があり、今年度も多くの参加者が見込まれる。また、イベント外でもトレッキングコースとして多くの観光客に利用されている。
- ・ 当地区は一人暮らしも多く「声かけ運動」が重要な働きかけとなり、行事への参加を促し、お茶を飲みあつての状況確認につながっている。また、若い移住者が高齢者を気にかけてたりすることが大きな特徴となっている。
- ・ 「敬老会の存続」では、会は昨年引き続き中止したが、当地区に2人の100歳の方がおり今後お祝いをしたい。
- ・ 「伝統芸能の保存・伝承」については、他地区から応援をもらって実施することができた。トシドンは対象の子どもがおらず定期的には実施できないが、何とかこれを残していきたい。
- ・ 「区民運動会」は実施できていないが、新しい運動会のあり方を模索して皆で知恵を出し合って実施できればと考えている。

### 市長コメント

- ・ コロナウイルス感染症の影響により、様々な事業が延期中止されているが、ワクチン接種率の上昇や、飲み薬の開発も期待され、令和4年度は2年前の日常に近いイベント開催の期待感を持っている。市としても各地区の広報に力を入れているので甑島振興局に情報をいただければ、あらゆる媒体を通じ広報を行う。
- ・ 地区での声掛けや安全見守りは、コミュニティの原点であり、お互い続けていくべきと考える。
- ・ 里地区は、安全安心生活環境パトロールが良かったとの評価報告があり、一方イベントはコロナ禍でできなかったとの報告であった。
- ・ 上甑地区は、コロナ禍による事業中止が多くなったとのことだが、カノコユリ植栽は実施され、甑大橋に来た観光客の心を和ませている。ハーフマラソンコース認定は、甑島全体にインパクトを与え影響が大きいことを期待している。
- ・ 手打地区のトシドンは本年実施されるとのことなので、市としてもPRしていきたい。特産品の海洋深層水を使ったアサリの養殖も技術的、広報的な要望があれば知らせて欲しい。
- ・ 子岳地区では、みっちり草原のカノコユリ畑について、市としても守る方向で

来年度以降検討を進めたい。甌島全体に及ぼすいい影響があるので、全庁的に取り組んでいきたい。

- ・ 西山地区は、ナポレオン岩という素晴らしい景観資源があるので、これを核として観光客の入り込み数の増につなげたい。青瀬コミ協と合同の「助八古道を歩こうかい！」についても、市として広報していきたい。

#### 【内川内地区】

- ・ 本地区民の大多数は高齢者であり、顔を合わせる機会が少ないので、月1回各家の見回り、声掛けを実施している。
- ・ 「内川内海岸生活道路整備事業」では、内川内海岸までの道の整備を観光協会や地元住民と協力して行っている。道の整備ができれば釣り客も多いので賑わうと思われる。
- ・ 「伝統芸能教室」については、伝統芸能は高齢化で担い手がおらず継承ができないためコミ協会議で廃止した。個人的な芸能活動としてイベント等で披露する場合は自由に参加できることとした。

#### 【長浜地区】

- ・ 「地区内での防犯活動」では、防犯灯設置維持管理、関係機関との連携による不審者の声かけ事案の防止活動、「地区内危険箇所の確認」では、点検と早期改修の実施、「防災活動」では、地区住民への避難所経路の周知徹底を行った。
- ・ 「防災・利便性の向上」では、台風災害に対応するため、避難所であるコミュニティセンターの雨戸及びエレベーターの設置の要望を行っている。
- ・ 「地区内の環境美化」では、年2回のボランティア活動による一斉清掃、河川・海岸・道路愛護を実施している。高齢者クラブによる緑地公園や県道の花植え活動、芦浜地区の越路花いっぱい公園の新規設置と維持管理を継続的に行っている。
- ・ 「交流の推進」については、檜の木見道を歩いてみる会をサポートしながら、集落跡地の散策や尾岳登山を実施して好評を得ており、継続的に実施したい。

#### 【青瀬地区】

- ・ 「まるごとささえ愛事業」は、毎週実施するサロンの中で健康体操やものづくりを行っており、住民全体で支えている。本年度から事業は社協に移管したが、地区独自の支えあいを続けていく。地区内には商店がなく買い物に困っている方が多いため、手打地区の商店への買い物支援を、今年度からあいのり交通を利用して行っている。今後も要望を取り入れて更に充実させていきたい。
- ・ 「田舎暮らし体験型住宅の管理運営事業」は、民家を借り上げて整備し、移定住希望者に田舎暮らしを体験してもらうもので、認知度や利用率が上がった。今後もこの体験型住宅を活用し、移定住実現のための活動を行う。
- ・ 「防災活動」については、講演会や避難訓練を通じ、有事の際に冷静に行動できるようにしていきたい。

## 【鹿島地区】

- ・ 「自主防災組織の編成・訓練」については、各自治会で組織する自主防災組織の訓練として行う全自治会合同訓練が計画どおりできていない。後期は、新型コロナウイルス感染症を考慮した内容の訓練を行う目標を立てている。
- ・ 「ウミネコ留学制度」は、実施委員会が中心になり受入世帯の拡充を図ってきた。これまで23年間で259名を受け入れ、学校及び地域の活性化に寄与している。令和2年度は9名の留学生を受け入れた。今後も、留学生が充実した生活を送れるよう、学校・家庭・地域が一体となって取り組みたい。募集についても積極的に取り組む予定。

## 市長コメント

- ・ 内川内地区は、積極的に声掛け活動を取り組んでいただいている。伝統芸能の伝承は、出身者の手助けの他、動画を撮っておくなどの守り方もあるのでは。
- ・ 長浜地区も声掛け活動を実践されており効果が出ているとのこと。コミュニティセンターは車が入りにくい。車社会において、地区の方が一番寄りやすい施設について意見を伺いたい。
- ・ 青瀬地区は、あいのり交通や体験型住宅の取り組みが移定住者を呼び込むモデル的な取り組みではないかと考える。他地区へも紹介していきたい。
- ・ 鹿島地区は、甌大橋完成により地形的に4地域の中心になった。今回の第1回令和コミュニティトークが鹿島地区でできたことも、甌大橋のメリットでは。恐竜化石ミュージアムは本格的に県補助事業を入れて、3年間で博物館になるような整備を進めていく予定である。ウミネコ留学は広報を進めながら1人でも多くの留学生に来ていただけるよう取り組みを進めていきたい。
- ・ 地区振興計画振り返りは、新しい取り組みである。上手く進んでいる点、苦労している点について他の地区を見て情報の共有を行っていただきたい。これからの事業やイベントは、他コミュニティ協議会や他自治会とタイアップして進める等、複数合同で対応することも大事になってくる。

## 事前提出議題

### 議題1 避難所の整備について【手打地区】

下甌地域内で手打地区のみきちんとした避難所が存在しない。新しい避難所を設立することは難しいと思われるので、今は使われていない健康管理センターを手打地区の避難所とすべく、予算を出してもらえないか。

## 甌島振興局長

現在、下甌高齢者生活福祉センター玉姫園を含む5か所（住民生活センター、手打小学校、手打地区コミュニティセンター、本町集会所）を指定避難所としており、健康管理センターに隣接している下甌高齢者生活福祉センター玉姫園は、災害対策詰所も兼ねて活用している。過去5年間における下甌高齢者生活福祉センター玉姫園の平均避難者数は年間40名程度であり、避難所としての機能を十分に果たしていると考えている。下甌健康管理センターは修繕を重ねながら、新型コロナウイルス

イルスに関する発熱外来をはじめ、週3回の手打診療所によるリハビリ、月1回のメンタルヘルスクリニック、月2回訪問リハビリ等に利用されている現状である。

全国でも大規模災害が発生している状況の中で、避難所全体について、老朽化や危険区域にある避難所のあり方について検討していきたい。

### 【手打地区】

健康管理センターは改修されないのか。

#### 甌島振興局長

現在施設については見直しを行っており、市施設全体で見直しをしている。

### 【手打地区】

去年は、避難中にガラスが割れて、避難所から避難所の移動があった。風の中での移動は大変なので早急な対応をお願いしたい。

#### 甌島振興局長

去年は、健康管理センターを一時的に避難所として使うことで対応した。

#### 市長

熱海の土石流や各地の豪雨被害等の例もあり、避難所が危険区域内にある所もあるので、現在全市的に点検中である。過去の被災状況も踏まえ点検を実施しているのでご理解いただきたい。

## 議題2 「まるごとささえ愛事業」の支援について【長浜地区】

当地区においても人口の減少と高齢化が進み、特に独居高齢者が増加して支援を必要とする住民が増えたことから、地域住民同士で支えあい、高齢者が住みなれた土地で暮らし続けられるよう支援体制の構築と整備を図ることを目的とし事業に着手した。事業開始から3年、支援コーディネーターを選任、個別訪問による困りごとの相談を受けながら、高齢者の個人情報の収集、支えあいマップづくり、緊急情報登録制度の構築を行った。

高齢者の日常生活における困りごとは多岐に渡り、相談を受け地域内で作業可能な人を選任するなどして対応してきた。また、緊急情報登録は万一事故が発生した場合、住民や救急隊員、医師が対応できるよう緊急時の連絡先やかかりつけの病院、服用中の薬などを自宅の見やすい場所に設置するなどして、高齢者に安心感をもって貰っている。(この情報はコミュニティ協議会事務所及び消防分駐所に情報登録している。)このようにして、当地区においては対象となる高齢者や住民の理解を得ながら順調にささえ愛事業を進めてきた。

しかし、今年度の制度改正により対象範囲が中学校区とされ、支援コーディネーターも社会福祉協議会の管理のもと広域で支援活動をしなければならなくなった。新制度についてコーディネーターに説明し、社会福祉協議会への登録を打診したが、全員が他地区の個別の情報が無く、地理的に対応できないとのことで辞退された。

当協議会としては、折角構築したこの住民同士が支え合う素晴らしい事業をどうしても続けたく、コミ協負担の単独事業として事業継続している。ただ、この事業継続には経費がかかり単独での負担は少ない財源を圧迫している。

については、行政側からの何らかの支援が受けられないか検討をお願いしたい。

## **甌島振興局長**

「まるごとささえ愛事業」は、介護保険で行うことができない地域におけるちょっとした困りごと住民同士が助け合う制度のことである。長浜地区においては、平成30年度から令和2年度まで3年間実施していただいた。

これまでは希望する地区コミュニティ協議会に実施していただいていたが、事業を展開していく地域生活支援コーディネーターの人材不足の問題があり、令和2年度の実施地区は全48地区中14地区にとどまった。甌島では、長浜、青瀬、子岳地区で実施。

そこで、全市的に持続可能なものとするために、専門職を多く確保し各支所に職員が配置されている社会福祉協議会に、人口減少や少子高齢化、将来の担い手不足等を鑑み、活動エリアを小学校区から中学校区に広げ、今年度から事業主体を変更し事業を展開している。

現在下甌地域では、社会福祉協議会下甌支所の職員が地域生活支援コーディネーターとなり、全域で事業を推進している。同地域はエリアが広く活動が限定的になっている状況があるので、活動を活発化するために、地域生活支援コーディネーターをサポートする「ささえ愛推進員」の配置を検討している。活動エリアを従来の小学校区域とするかを含め、人数等についても今後協議させていただきたい。

## **【長浜地区】**

本事業はコミュニティ協議会中心に継続していきたい。地区には独居者60名、重点訪問者25名がいる。人間関係の構築が難しく、当分は地区だけで進めていきたいが、費用負担は大きい。

## **甌島振興局長**

コミュニティ協議会で独自に行う事業は、自ら費用を捻出されている。協力できる部分は協力していきたい。住民同士が支え合う事業であるので可能な限り取り組んでいただきたい。

## **議題3 旧里支所の有効利用について【里地区】**

旧里支所は市民サービスセンターになり窓口業務のみになったので、全体の三分の二程のスペースが空いているが、市はこのスペースの活用に計画があるのか。なければ、地区を散策する観光客の休憩所にしてはどうか。

また、甌観光のスタート地点として旧支所周辺の整備は必要であると感じる。例えば、旧支所の生垣の植栽剪定などであるが、本年は9月になってから実施されており、集落全体はお盆前にはきれいに剪定しているのに、旧支所（現・市民サービスセンター）の生垣などの周辺だけが、草や枝が伸び放題になっていた。観光を目玉にしている地域であるだけに、観光客が増える夏場の、少なくともお盆前には済ませてもらいたい。

## **甌島振興局長**

市が庁舎を直接一般市民や観光客等へ開放し利用していただくには、日常の執務への影響やセキュリティの確保を考える必要があり、特に土日・祝日の利用を考え

た場合、間仕切り等の対策を取らないと貸し出すことは厳しく、多額の改修費も必要となる。また、旧里支所庁舎は昭和38年の建設で既に58年が経過しており、老朽化が進んでいる。これらを踏まえ、薩摩川内市公共施設等総合管理計画に基づき、庁舎の耐用年数や老朽化の度合いにより施設の再編や利活用について検討している。2階の旧議場、しまとりえのスペースの今後の利活用も含め検討している。

生垣の剪定は毎年業者委託での実施をしているところであり、今回のご指摘を踏まえ、来年度はお盆前の実施に向けて手続等を進めていく。

### 【里地区】

植栽剪定については6月に入札が行われたと聞いている。9月実施の理由は。

#### 甌島振興局長

入札後の手続きが遅れたと聞いている。業者が限定されることも理由の1つと考えられるが、来年は早めに実施したい。

#### 市長

2階の旧議場は、市民サービスセンターとは入口は別とのことで、しまとりえの場所は、空間としては使えると思われるので来年議論をしていきたい。観光客等が港に降りた後、どのような動線で武家屋敷などに行かれるのか、休憩場所はどの辺りが良いのか含め検討する。

生垣剪定については、来年度はお盆前に実施させる。

### 議題4 観光客増加に伴うインフラ整備(公設トイレの増設)について【西山地区】

公設トイレは、展望所に1箇所(男女各1)あるだけで、時間に追われて、多人数で来る団体客には間に合わない。そのためコミュニティセンターに借りに来られることも多く、コミュニティセンター内のトイレを貸している。

本来コミュニティセンター内のトイレは、観光客の利用を想定して作られたものではなく、管理上も問題があるのではないかと。

#### 甌島振興局長

昨年の甌大橋開通以来、あるいは新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除後10月から11月に多くの観光客に来ていただいている中で、公衆トイレが問題となっていることは十分承知している。島内にある公衆トイレの数量等については、把握しているが、それぞれ年次的に改修を行ってきている状況である。インフラ整備に関しては、利用頻度や維持管理のことも十分考慮しなければならず、関係課と十分協議調整し検討していきたい。

コミュニティセンター内のトイレは、施設利用を許可された利用者が使うものであり、観光客等の不特定多数の部外者の利用は施設運営管理上、問題があると思われる。団体ツアーの場合はトイレが少ない場所に来られる前に休憩を済ませるなどの対応を取られるよう、関係団体・旅行代理店へお願いをしながら対応していきたい。



## 【西山地区】

暫定的なもの、例えばブースを設け、携帯用袋を配り、用を足してもらう方法もある。トイレは切実な問題であり設置の方向で検討してほしい。

## 市長

ナポレオン岩を多くの人が見に来られる状況は承知した。漁港付近に平成27年にできた消防団詰所もあるので、土地、財源、消防団詰所ができた経緯を踏まえて今後検討したい。暫定的な例は、一つのアイデアとして受け止める。

## 議題5 鹿島診療所の存続について【鹿島地区】

地区に診療所がないと、何かあった時にすぐに対応が出来ない。特別養護老人ホームもあるので、医師が随時いた方が安心する。少子高齢化なので、常に医師が近くにいないと不安である。

## 甌島振興局長

甌はひとつ推進会議からの提言を受け令和元年10月に策定した「甌島地域一体化方針」の骨格を継承しつつ、内容を一部変更した「甌島診療所再編方針」を策定し、診療所の集約及び再編を進めていく考えである。

鹿島診療所の集約についても順次進めていかなければならないが、再編方針で集約先としている上甌診療所の医療従事者の確保が依然としてままならない状態であり、既存のスタッフに過大な負担を強いることが予想される。上甌診療所の医療従事者が充足するまでの当面の間集約を見送り、ある程度確保の見通しがつき次第、集約を進めていきたいと考えている。なお、集約後の鹿島地域では、出張診療所として診療業務を続けていくこととしている。

近くに医師がいない不安があるとのことであるが、日中・夜間の有事の際は、上甌島から鹿島まで15分位なので、緊急対応はできるのではないかと考えている。今後も、甌島区域の医療を守っていくために医療従事者の確保に努めていきたい。

## 【鹿島地区】

診療所再編方針は承知しているが、地域にとって医師は欠かせない存在であり、鹿島診療所の存続を求める声が日増しに高まっている。方針を見直し、存続することを強く求める。歯科診療存続もお願いしたい。

## 市長

甌島4地域での議論を経て一体化方針を定め、集約の方針が示されたという認識である。存続という考え方であれば、改めて甌4地域内9コミ協内で集約の議論が必要と思うが、既に議会にも集約の方向性が承認された経緯があるので、再度議会の意見も聴く必要がある。現時点では、再編方針に従い上甌診療所に集約する方針があって、医療従事者不足により集約時期が伸びている。近く、議会に対し組織的な集約と建物の建替の議論をしていく予定である。

## 【鹿島地区】

甌大橋が完成して上甌島に行く時間が短くなったことと、診療所とは別問題である。時間が短くなったから、地域の人たちが安心することはない。地域に医者が張

り付いて、いつでも夜中でも昼でも安心して診療を受けられる体制を取ってもらうことが必要である。

#### **市長**

甌島地域医療従事者等の安定的な確保のため、令和4年度から6年度の間、甌島の市の診療所及び民間の医療福祉施設等に新たに就職した者に対する新たな給付金制度を創設する。対象職種は、医師、歯科医師、薬剤師、看護師又は准看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士、社会福祉士、介護福祉士。新たに就職した方に対して4年間給付金を支給する。

#### **議題6 上甌診療所の整備について【上甌地区】**

現在の上甌診療所は昭和51年に整備され45年が経過しており、施設そのものも老朽化が進んでいる。また、医療設備についても、救急患者(脳梗塞等)への対応や地域住民が求めている医療設備は十分とは言えない。離島の住民は、設備が整った医療機関を受診するとなれば、医療費以外にも多額の経費が必要となる。

また、上甌島には人工透析ができる医療機関がないため、以前は人工透析が必要となった場合は本土に移住し人工透析を行っていたが、現在では甌大橋の完成、開通により数名の方が地元に戻り、下甌診療所で透析を行っているようである。しかしながら、上甌島から下甌(手打)までは自家用車での通院で一日がかりになり、人工透析が終わった後は個人差はあるようだが、ふらつきがあったり疲れが残ったりしてすぐには行動できず大変な思いをされているようだ。

現在の施設設備は、入院施設も含め狭い上に老朽化も進んでいる。総合病院までとは言わないが、ある程度の急患に対応できる施設と医療機器の設備をお願いしたい。新築に向けた用地の確保はできているように聞いている。財政難で厳しい状況にはあると思うが、早急な整備をお願いしたい。

#### **甌島振興局長**

甌島一体化方針を継承しつつ、甌島診療所再編方針を策定して、診療所の再編を進めていくこととしている。

一体化方針では、上甌診療所に里診療所と鹿島診療所を集約した後、一定期間経過後に上甌診療所を整備することとしているが、依然として慢性的な医療従事者不足が課題であるため、医療従事者の確保に努めながら再編方針を検討していきたいと考えている。

#### **【上甌地区】**

現在施設での老朽化対応や人口透析等の設備整備もお願いしたいが、建物整備の計画があるのであればそれまで待つしかない。早急な対応をお願いしたい。

#### **【上甌地区】**

Uターンして看護師の職に就きたいという者がいるが、身分的な取り扱いは。

#### **市長**

市の診療所に勤務するには、採用試験を受けて合格すれば公務員となる。甌島の診療所の看護師は不足しているので年数回募集を行っている。

## **議題7 バス道路及び地区内の整備、美化について【内川内】**

バス道路に覆いかぶさっている木を壁面の半分くらいから伐採して欲しい。

バス道路の桜の病気を治したい。

地区内の道路にむき出しになっている水道管は何とかならないのか。

### **甌島振興局長**

市道に繁茂している樹木については、バス等の通行に支障があるなど安全確保が阻害されている区間は優先的に伐採、伐木等を対応したい。

市道沿いの桜の病気については、専門家の意見を聞き対応を協議したい。

また、山水道及び污水管と併設している内川内地区の上水道管は、起伏の激しい地形と岩質であるため配管を埋設することは非常に厳しい状況で、露出の構造となっている。上下水道管については、布設替えの際には景観を損なわないよう、また住民の方の通行に支障がないよう管の種類や口径を検討していきたい。

### **【内川内地区】**

水道管等は塩ビ管でつながっており、老朽化して踏んだら割れてしまう状況だ。自由に曲がるものに替えられないか。

### **甌島振興局長**

水道管等は材質のやわらかいものにできるよう検討したい。

### **市長**

鹿島診療所の上甌診療所への集約は、これまでの協議を踏まえて再編する方針である。医療従事者、特に看護師の確保については、新たな給付金制度を使い数回の採用試験により募集を行っていく。現方針での上甌診療所の再編の年次と建物新築については2度延長しているので、早い時期に示すべきと考えている。

診療所再編については、甌4地域9コミ協の総意の一致がないと進めないことをご承知おきいただきたい。

## **フリートーク**

### **【内川内】**

航空自衛隊下甌島分屯基地の周辺の道路の伐採が済んでいない箇所では、大型車両と離合する際に車体に傷が着くことも。伐採が済んでいない場所を早急に伐採できないか。

### **甌島振興局長**

伐採が必要な箇所の実情は承知しており、限られた予算の範囲内で順次実施している。長浜から瀬々野浦の県道に接続する部分は、現場を確認して予算の範囲内で進めていきたい。

### **市長**

県道部分は県に要望したい。

### 【手打地区】

下甌郷土館の武家門復元については2月に市長に直接陳情し、早速現場も見てもらった。武家門復元に向けて、市関係部局で検討されていると聞いている。入来麓、里麓とともに手打麓は日本遺産に認定されており、特に武家屋敷通りのシンボルとして、復元には地元のみならず多くの意見が寄せられている。

### 教育長

現在、財源を含めて前向きに検討中である。歴史的価値も含め、観光資源としても大変重要であると理解している。

### 【長浜地区】

長浜地区コミュニティセンターと現在出張診療所扱いになっている長浜診療所について、施設の利活用をどのように考えているか。

### 甌島振興局長

市有施設の利活用については、公共施設再配置計画を策定し、老朽化した市有施設について全体的に検討中である。

### 市長

長浜地区コミュニティセンターを含め方針はまだ決定しているわけではない。甌大橋開通や市有施設老朽化の状況も踏まえ、全市的に検討し、支所庁舎、診療所、地区コミュニティセンター等は、なるべく早い時期に効果的な集約、再配置の方針を、議会、市民、地区コミュニティ協議会にお示したい。

### 【鹿島地区】

甌大橋が開通後、観光客が増え、それに伴い交通量も増えた。特に、市道鳥ノ巣線は大型のバイクや大型観光バスが通るようになった。道幅が狭く交通事故が起きる可能性もあるが、整備の計画はないのか。

### 甌島振興局長

市道鳥ノ巣線は年次的に整備を進めてきており、本年度で終了する予定である。市道藺牟田線は側溝の蓋のない箇所もあり、道幅が狭い箇所は来年度予算で対応できないか検討している。

### 【鹿島地区】

本地区では11時台までに水揚げされた魚を鹿島港13:45発のフェリーに載せることで、翌日の市場の入札時間に間に合わせている。もし間に合わなかった場合は、長浜港14:35発のフェリーに間に合うよう運ばなければならない。

甌島のおいしくて新鮮な魚を各地へ届けるため、フェリーの鹿島港への寄港を、今の運航体制で継続して欲しい。

### 市長

航路改善協議会で策定された航路改善計画では、島内の交通事情が改善された場合は、下甌島航路を集約する意見集約がなされた。本年2月に甌島商船から島内寄

港地集約の申し入れを受け、3月に議会全員協議会に報告説明したところである。ただし、現時点で甑島商船から航路集約やその後のことについて具体的な情報が発信されていない。